

スズキ、インドネシアで新型「XL7」を発表



新型「XL7」

スズキ株式会社のインドネシア子会社スズキ・インドモービル・モーター社(以下SIM社)は、SUV(スポーツ用多目的車)のデザインとMPV(多目的乗用車)の利便性を融合させた、3列シート7人乗りクロスオーバー車の**新型「XL7」**(エックスエルセブン)を発表した。

新型「XL7」は、力強いフロントフェイスや張り出しの強いフェンダーモールなどSUVらしいタフなスタイリングと、多彩なシートアレンジやゆとりある室内空間などMPVの使い勝手の良さを融合した、活動的な家族に向けた新しいクロスオーバー車である。

パワートレインにはパワフルな1.5Lガソリンエンジンを搭載し、軽量・高剛性のプラットフォーム「HEARTECT(ハーテクト)」を組み合わせることで、優れた動力性能と燃費性能を実現した。

スズキは、インドネシア市場で全体の3割以上を占めるMPVセグメントと、近年人気が高まっているSUVセグメントの双方に向けて**新型「XL7」**を投入することで、幅広くユーザーの獲得を図っていく。生産はSIM社のチカラン工場で行われ、周辺のアジア及び中南米へも順次輸出していく計画である。

●新型「XL7」の主要諸元

全長4,450mm×全幅1,775mm×全高1,710mm

エンジン: 1.5Lガソリン

トランスミッション: 5MT/4AT